

一級自動車工学科			2023年度 授業計画			
時期	3年D巡	単元	学科	教科名	総合診断	
科目	自動車整備	教科書等 持参品	総合診断・環境保全・安全管理		発行日	2023年4月1日
総時限	11時限				教科担当	佐藤 一成 ●■ 小林 和樹 ●■
<b>1. 実務経験のある教員による授業科目 該当</b>						
自動車販売会社で整備士として、問診、診断、整備計画等と整備結果説明においての実務経験がある教員により、それらの知識を活用した応酬話法について指導する。						
<b>2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)</b>						
1) 総合診断について教科書レベルの知識習得 2) 自動車ユーザーの保守管理を支援するための情報提供手段の知識習得 3) 問診、診断、整備計画等についての知識習得 4) 整備結果説明における知識習得 5) 上記を活用した応酬話法の習得						
<b>3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)</b>						
1) 国家一級小型自動車整備士資格学科試験問題、口述試験について解答できる。 2) 総合診断において (1) 受付、問診、診断の留意点が説明できる (2) 接客の基本手法を理解し、対応ができる (3) 自動車の装置、部品の役割と保守管理の必要性が説明できる (4) 問診、整備結果説明において応酬話法ができる						
<b>4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)</b>						
・学科履修試験での得点評価 合格基準：70点以上で合格 評価の種類：『優』・『良』・『可』（履修）、『未』（未履修）の4段階で評価 評価基準：80点以上…『優』、70点以上…『良』、70点未満…『未』（未履修） 再試験・判定試験で合格した場合は得点に関係なく…『可』						
<出題試験項目> ① 問診の流れについて ② 自動車の装置、部品に関する保守管理の必要性について ③ 整備結果説明の流れについて						
<b>5. 準備学習</b>						
1) P26～29の自動車の装置に関する保守管理の必要性を自身の言葉で纏めさせる。						

